

Digital Camera 倶楽部

JUL 2021
Vol.004

ワクチンの接種は終わりましたか？

接種が始まってからは、割合スムーズに2回の接種が行われているようですね。気分的には楽になりましたが、外国からの変異株が威力を増して入ってきているようですから、まだまだ油断は出来ません。

それでも我々写真を撮ることに楽しみを持っている者たちにとっては、早く外に出たいですね。

先日、古い写真を繰り返し見ていた時、6月には ひめさゆり を撮りに喜多方へ行ったことを思い出しました。居ても経っても居られずに、と思いましたが、やはり踏みとどまって、前にもお話したと思いますが少しご紹介させていただきます。

建築の仕事をしている頃の話ですから30年も昔の話です、職人さんを探しに山形県の米沢に行きました。行きは東北自動車道から福島飯坂ICから栗子峠を越えて昼過ぎには米沢市内に入りました、今では東北中央自動車道が出来て峠越えの走行もトンネルになって楽なようです。

職人さんのお宅で話が決まり、一晩ご馳走になったの翌日。来た道を引き返すのはつまらないので、もう一泊を考えて喜多方へ向かいました。(そこは経営者の特権)国道121号線で山の中を走り、大峠を越すと日中ダムがありました。その少し先に熱塩温泉が出て来ました。当時は熱塩加納村と言ってまだ喜多方市と合併していませんでした。(その前は熱塩村と加納村でした)この温泉は数年後に泊まりに行きましたが、とても静かな良い温泉場です。

すると道路わきに点々と ひめさゆり の絵と矢印が書かれた小さな案内板が目に残ります。気にしながら進むと余りに沢山の案内板なので、これは一度行ってみようと思って、国道から右に入り更に案内に従って進むこと数キロ、でも最初は田んぼや畑ですが直ぐに山の中なので不安になりましたが何とか辿り着きました。

駐車場が用意されており、多くの村人が盛んに説明をしてくれて、隣の一山の斜面にロープで道を区画されて初めて見る ひめさゆり が咲き競っていました。当時はまだフィルムカメラが全盛で、買ったばかりのコンタックスS2に50mmのレンズで一生懸命写しました。コンタックスは2台目でこのS2はメカニカル機構で巻き上げがレバー式でシャッターも機械式の、ちょうどアサヒペンタックスの初代のような感覚と、何よりも機械式シャッターの作

動音と指に伝わる感じがこれぞカメラと思えて堪りませんでした。

しかし、進化の道は早く厳しいもので、デジタルカメラに押されて電子機構に後れを取った京セラがカメラ部門を放棄してしまい、描写力の鋭いツァイスレンズも手放す結果となってしまいましたね。

余談ついでに、白内障の手術の時の機械にはツァイスのレンズが使われていて、Dr と手術前にレンズの話で盛り上がりました。

さて、話は ひめさゆり ですね。こんな縁ですっかり 吉永小百合 ならぬ ひめさゆり の サユリスト になってしまいました。その夜は喜多方の小さな宿に泊まり、ラーメンを食べに出してみました。

ここはラーメン屋さんの集まりが強く 老麺会 と随所に幟が出ていました。30 年も前の事です、今もこの幟が出ています。 老麺 をラーメンと読んでいます。

この ひめさゆり を調べてみると ささゆり から地域で変化したようで、自生地は飯豊連峰など新潟・福島・山形の接する辺り、などに限定されているようです。福島では南会津の南郷村のスキー場と高清水公園も自生地として有名で何回か行きました。来年はもう一度是非行きたい所です。

皆さんのワクチン接種が終わり、オリンピック・パラリンピックが終了する頃には、教室も再開できそうですね。早く撮影会に行きたいものです。



笹原虎夫のページ

フルハーフの薔薇たち



プリンセス・ミチコ
上皇后様に因んだ薔薇

プリンセス・マーガレット



パパメイアン



オオルリ
八菅山にて

キビタキ
八菅山にて



裏翅が綺麗

イチモンジチョウ
名前の由来の一文字



鈴木義則 のページ

初夏の自宅と公園

人はコロナで大騒ぎの中、草花は変わることなくその時期を謳歌しています。今回は自宅の庭と近くの草刈り直後の公園で見た初夏を編集してみました。



開花直前のアマリリス、
左から右に掛けて1、2
日後から1週間後までに
順次開花します

盆栽赤松の花、これから開花
して嫌われ者の花粉をまき
散らします



花桃の実、もう少し大きくなります
が完熟することは無く落ちてしま
います

公園で見つけたオオバコとクサオウの集団、背丈の高い草が刈り取られたことで見ごたえが出てきました



柳の樹皮の間に根を下ろしたオオバコ、野草の生命力を感じます

群生したタッタソウの1輪をアップ、花後には雀の食事も準備しています



ヘビイチゴの実も上草を刈られたので顔を出しました。日陰或いは土壌質の為か色が紫かかっています

鈴木瑠美子 のページ

私の好きな雲

建屋と雲の写真が好みですが今回は郷里での雲と自宅からの雲の中から選んでみました。言うまでもなく昔の写真からの抽出で、中には再提出もあるかもしれません



約 65 年前に建てられた福島市教育会館の屋根と雲、当時斬新であったアーチ形の屋根と三角壁に柔らかい雲が伸びていました

市内を流れる阿武隈川の東岸を覆う力強い雲、中央直下の突き出た山には江戸期前まで椿館と呼ばれた館（砦）があった

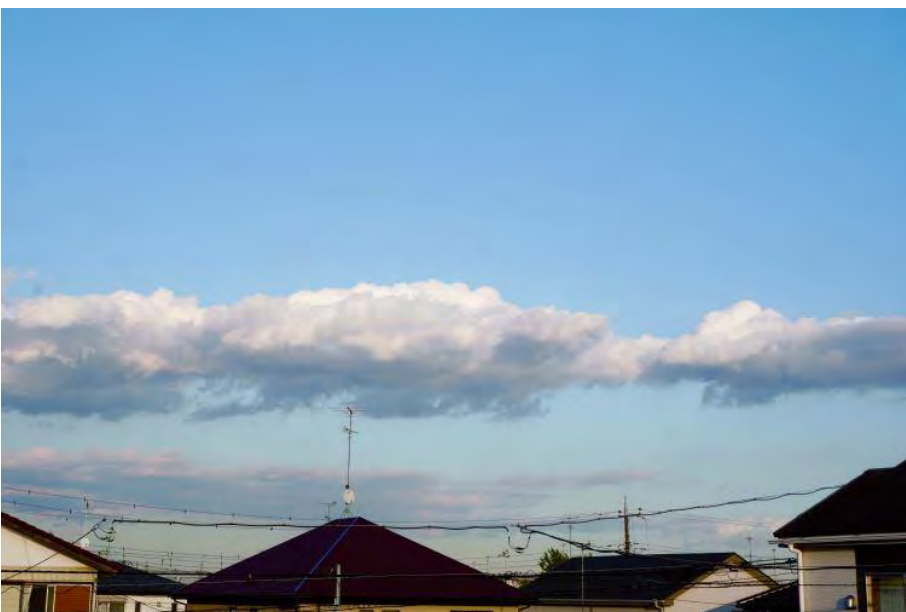
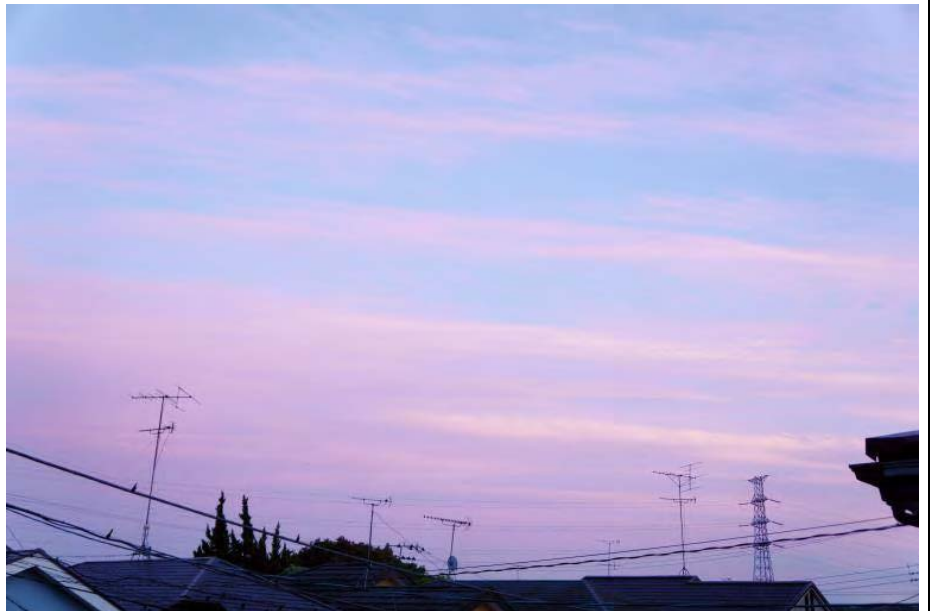


梅雨の時期で水かさが増した阿武隈川にかかる松齢橋（大正 14 年竣工）は昔の福島を思い出させる（写真では手前にあるがよく見えない）



最も好きな鱗雲
です。澄んだ秋空
を飾り見事です
が数分で形を変
えます

夕焼けに染まる高層
雲、思わず童謡が浮か
びます



横に並んだ雲、この雲が
発達すると天気が悪く
なるとか、それでも面白
い

谷元 範章のページ

今月は自粛して自宅で撮影しました





←ムラサキエドハギ

花びらを並べてみました



雨が降ると庭でスイテキ探しをしています

金蓮花の葉に並んだスイテキ



五丁目公園

ふだんは気付かず踏まれている
小さな花(,4~10 ㍉)がいっぱい
咲いていました



長谷川 進のハーツ

R3-6月 あじさいの箱根登山鉄道
例年の華やかさが足りない？沿線でした



(大平台駅) ↑下り線到着 ↓しばしのお見送り(上り運転手)





↑ピンクの道標（大平台駅）

→下り勾配を行く（宮の下駅）

↓くねくねカーブ道（宮の下駅上り）



別府 2 0 2 1 - 7 月

花菜ガーデンのバラとクレマチス











クレマチスの丘
クレマチスの花は終わりに近く
くも紫陽花が満開でした
周りはイタリアの彫刻家ヴァン
ジの庭園では面白い作品があり各
々想像して楽しみました





ゆりの花園 花菜ガーデン
赤や黄色 白やピンク色のゆりの花が
咲き人々は足を止める
近くに紫陽花の為に青い傘がスポット
的に風に揺れていました

上 田 良 光 のページ

梅雨に似合う花 紫陽花を写生する小学生



紫陽花開花 いろいろ



孔雀草の開花



情熱の薔薇



金井寿雄のページ (相模原北公園)





金井陽子のページ



